

## 市民記者が行く!!

## めやま見てある記

## 山里の味 あけび

甘いところを吸い取って、小粒の種を"プーッ"と吐 き出す一風変わった食べ方をする果物「あけび」、今で は見かけることも少なくなりました。

そんななか、自生あけびの幼苗を育てはじめて50 年! 関町新所の森田努さん宅庭先の棚には、太い2



本のつるが伸びて、今年も300個程度の実が鈴生りで す。その珍しい情景に思わず「わー、すごい! | と声が 出てしまいました。

森田さんにこれまでの育て方についてお話を伺い ました。幼苗時には肥料を与え成長を促し、おいしい 実を作ることを目指していましたが、詳しい知識がな く試行錯誤の十数年だったそうです。その後、棚仕立 てにすることで、摘果摘心作業がうまくでき、太陽光 も良く当たるようになり、表皮が厚く味まろやかな果 実が取れるようになったそうです。数年前には、なん と1,000個程度の実が千成りで、『それは見事であっ た』とも話されました。近年では、あまり手を加えるこ となく自然と生長するのを見守っているだけで、良い 実が取れるまでになったそうです。

夏季には日陰にもなり、眺めていると癒し効果もあ る、ちょっと不思議な果物「あけび」。関宿を訪れた人 たちも珍しそうに眺め、ときにはカメラで写す人もい るそうです。そんなときは「説明することもあります よ」と笑顔で話されました。

味まろやかなあけび、□にする日はもう間近です! 市民記者 松村 正さん



\*\*

このコーナーでは、元気なかめやまっ子の写真を募集しています。 掲載を希望する人は、広報秘書室(☎84-5021)までご連絡ください。



元気いっぱい育ってね☆

若か ₩ #

聡<sup>き</sup>志 く ん

平成2年8月14日生まれ



毎日元気いっぱい遊ぼうね!

父

<u>₹</u>

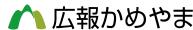
諭惟さん

朗る く ん

平成2年4月9日生まれ

●男 24,830人(前月比+47)

●女 24,868人(前月比-12) ●世帯数 20,715世帯(前月比+40)



第270号 平成28年10月1日 発行:亀山市 編集:企画総務部広報秘書室 印刷:㈱アイブレーン 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111代 FAX 0595-82-9955 ホームページ http://www.city.kameyama.mie.jp